

一人1台の学習者用端末を活用した授業モデル デジタルブック活用ガイド①

児童が、「観点を明確にしながら、自分の文章のよいところを見付ける」ことができるように、
一人1台の学習者用端末を活用した書く授業モデルを開発しました。

◆はじめのページ◆

学習課題の設定 (1/12)

【課題】 書こうとしたことが伝わるようにするには、どのように書き方の工夫をすればよいか考えながら、自分の考えを書いて伝えよう。

関東大震災から100年が経過していることを踏まえ、もしものときにどのような備えが必要か、自分の考えをまとめる。

【学習のゴール】
2年生に向け、電子防災ブックを作成する。

災害に関する資料を提示し、近年様々な災害が起きていると、今までの学習を基に災害に対する備えの必要性に付させる。

【2年生向けにした理由】
・相手意識をもたせる。
・調べたことを分かりやすい言葉で考えさせる。

2



【戻る】をクリックすると現在のページ前の最後に表示されたページへジャンプします。



【HOME】をクリックすると最初のページ（右の画面）へジャンプします。

- ◆はじめから御覧になる方は、「学習課題の設定」をクリックしてください。
- ◆途中から御覧になる方は、青色の項目をクリックしてください。

一人1台の学習者用端末を活用した書く授業モデル デジタルブック

※具体的な活用方法は、「活用ガイド」を御覧ください。
※クリックすると、指定のページへジャンプします。

文字が青くなっているところは、
クリックできます。



📎 ワークシート一覧は[こちら](#)

ワークシート

編集可能なワークシートです。

学習過程

学習課題の設定

- ◆教師が単元を通じた学習課題を設定し、児童は課題について課題を出し合う。

見通しの設定

- ◆児童が課題を確認し、学習の見通しをもち、個人で学習計画表を作成する。

学びの活動

- ◆児童が各学習過程において、学習計画表をもとに学習内容及び学習方法を決定しながら学習を進める。
- ◆文章を読み合う活動や伝え合う活動は、教師が学習計画表の中で設定するが、児童が学習に対して、更に深めようと判断した場合、必要な学習課題に戻るなど、自己調整しながら学習を進める。

学びの振り返り

- ◆児童が毎回の学習の内容及び学習方法についての振り返りをし、次時の学習の計画を見直す。
- ◆他の児童の振り返りを共有し、自身の学びに生かす。

一人1台の学習者用端末を活用した授業モデル デジタルブック活用ガイド②

児童が、共同編集機能を活用し、他の児童のワークシートを閲覧する方法を紹介します。

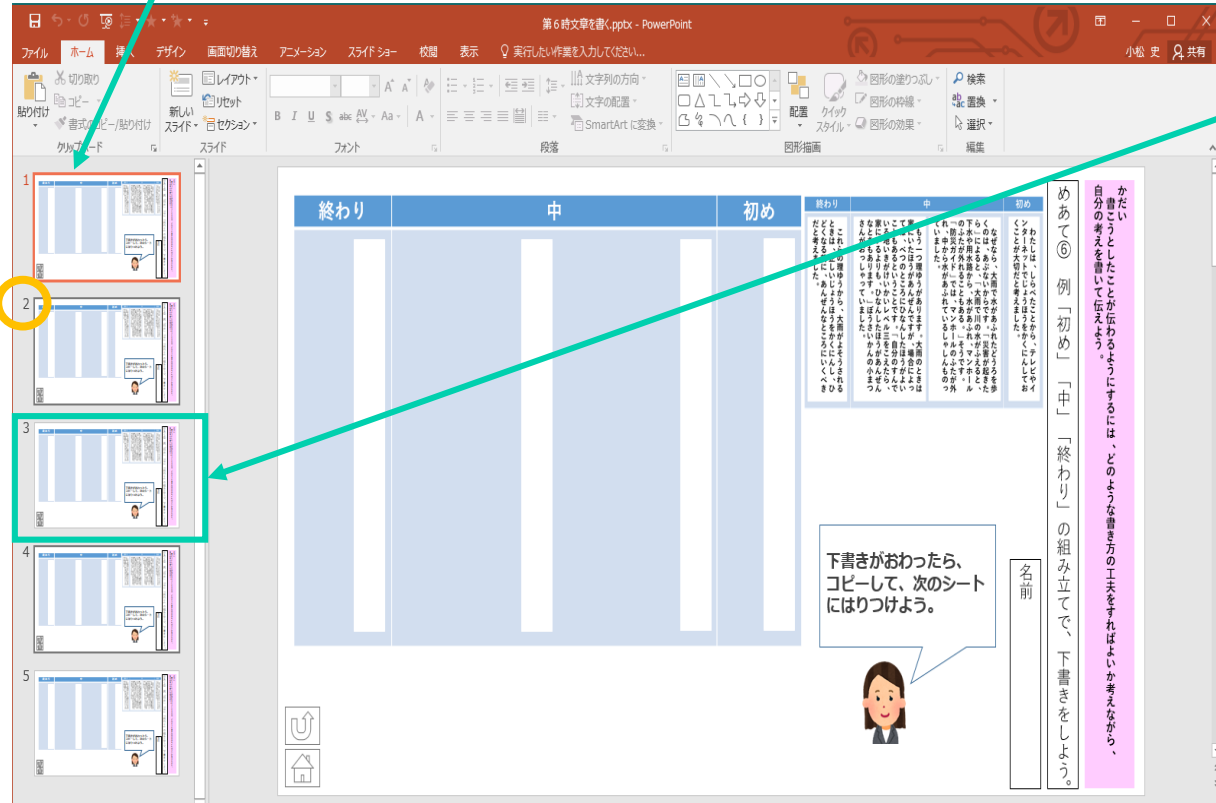
デジタルワークシート配布の仕方

【児童が他の児童の学習の途中段階を閲覧することが可能となる。】

①コピーしたいスライドをクリックする。

②右クリックし、スライドの複製をクリックし、必要な枚数繰り返す。

③名前を付けて保存する。



児童は、出席番号と同じスライド番号を使用する。 例：出席番号2→スライド番号2を使用。

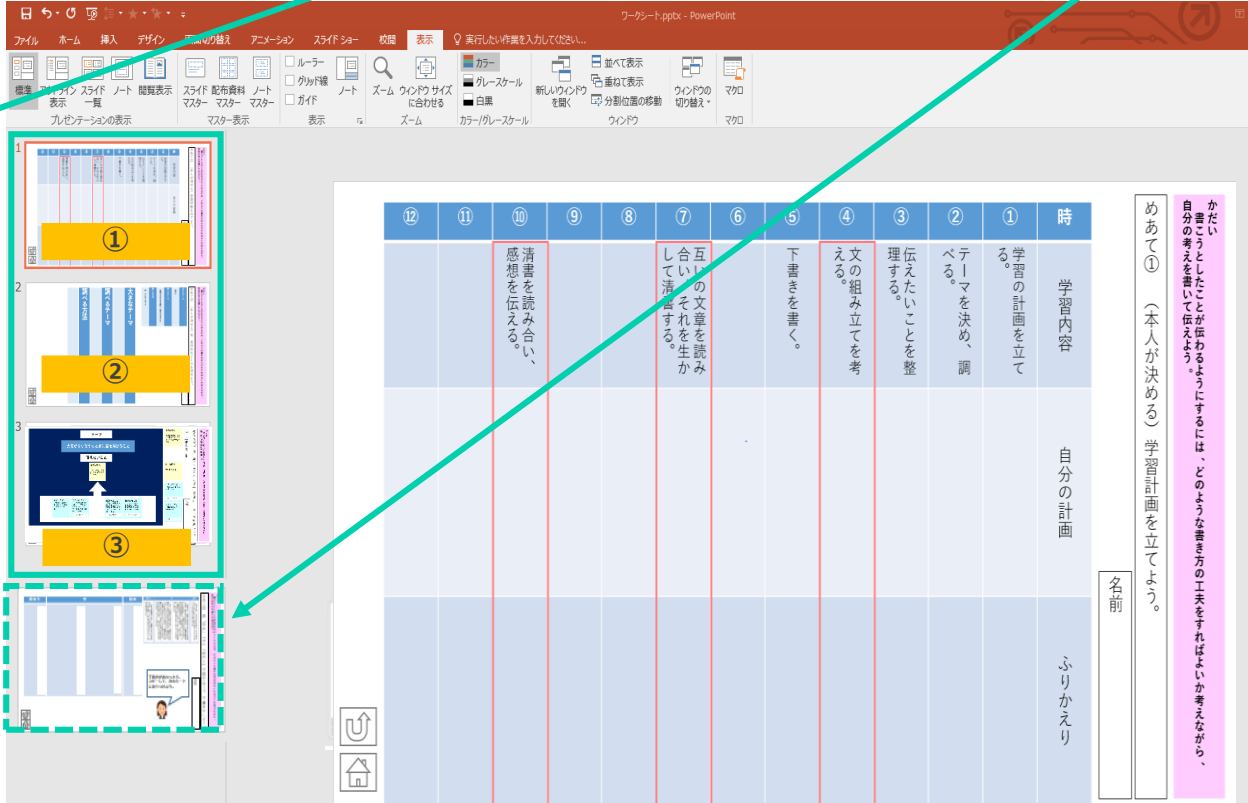
個人の学習データの蓄積の仕方

【各児童の学習データを蓄積し、自己の学習の振り返りをすることが可能となる。】

※個人用のスライドシートを作成しておく。

①授業の終了後、自分のスライドをコピーする。

②自分のスライドを開き、右クリックし、貼り付けをクリックする。



※左のスライドのバックアップとして、個人の学習データを別ファイルに保存する。